

インターネット専門銀行として
先進的で魅力あふれる
金融サービスを提供する銀行

お客様の視線に立ち、
お客様とともに歩む銀行

人間性にあふれ、
働きがいのある銀行

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

このたび、2012年度中間期の財務状況等を取りまとめた「中間期ディスクロージャー誌(2012年度)」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。

2012年度中間期の業績

2012年度中間期の業容につきましては、口座数は前年同期比11万口座増加し240万口座、預金残高は前年同期比259億円増加し5,016億円、ネット決済取扱件数は前年同期比30万件増加し4,670万件となりました。お客様の日頃のご愛顧に感謝申し上げます。

業績につきましては、業務粗利益が5,171百万円、経常利益が905百万円、当期純利益503百万円となりました。引き続き、7期連続の黒字確保と安定した収益基盤構築に向け、社員一同尽力してまいります。

2012年度中間期の商品・サービス

より多くのお客様に、ジャパンネット銀行を便利にご利用いただけますよう、2012年7月から「口座維持手数料」を廃止するとともに、「提携ATM手数料の体系」を見直しました。同じく7月から、キャンペーンや提携サービスのご利用・お申し込みで現金に交換可能なJNBスターを獲得できる「JNBスタープログラム」を導入しました。

運用商品につきましては、2012年8月には「JNB投資信託」での取扱ファンドを201本まで拡充し、JNB-FX PLUS(店頭外国為替証拠金取引)の取扱通貨ペアを14通貨ペアから16通貨ペアに拡げました。

下期につきましては、過払い金に関する問題が落ち着いた消費者ローン市場は健全化しつつあるという認識のもと、2012年12月に当社無担保ローン商品「ネットキャッシング」の商品性を改定しました。ご利用限度額を業界最高水準の1,000万円まで拡大し、適用金利も競争力の高いものとするにより、お客様のネット決済に伴うファイナンスニーズに幅広くお応えできるものと思っています。

また、カード番号が使い切りなので安心して利用できるとご愛顧をいただいている、当社独自商品の「ワンタイムデビット(正式商品名: JNBカードレスVisaデビット)」につきましては、2012年6月のスモールビジネスのお客様へのご提供に続き、今後の当社戦略商品として一層の利便性拡充を図ってまいります。

安心してご利用いただける銀行を目指して

2012年11月には「ネットバンキングで不正画面による被害」というニュースが、連日大きく報道されました。生活に浸透しつつあるインターネットバンキングで、利用者がいつ被害に遭うか分からない事件ですから、社会の関心が高く利用者が心配されるのは当然です。

当社が2012年10月から11月にかけて、お客様を対象として行ったインターネットバンキングに関する意識調査によりますと、約6割の方がインターネットバンキング全般のセキュリティに対して不安があると回答、お客様のセキュリティ面での不安や意識の高さが明らかになりました。

ジャパンネット銀行は、開業より一貫してセキュリティへの対策に重点を置き、インターネットバンキング犯罪が急増した2006年には、ワンタイムパスワードを導入し、すべてのお客様にその表示装置であるトークンの無料配布を開始しました。実際に導入以来、インターネットバンキング犯罪による被害は出ていません。今回の意識調査でも、お客様からセキュリティへの高い評価をいただきました。

お客様に安心してインターネットバンキングをご利用いただけるよう万全の対策をとり日々改善していくことが、インターネット専門銀行であるジャパンネット銀行の、重要な社会的使命の一つと認識しています。お客様から寄せられたご意見も十分に活かしつつ、安全・安心なインターネットバンキングサービスの提供に、より一段と取り組んでまいります。

引き続き、ジャパンネット銀行をご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

2013年1月
代表取締役社長 小村 充広